

には消防指令センターへの直通電話を設置し、緊急出動で署員が不在の時に利用できます。

関宿あおぞら広場 周辺には歴史や自然も

関宿藩校から120年余りの歴史を持つ関宿小学校が平成11年に移転し、跡地は地元住民から有効利用の声があがっていました。市では地元の皆さんなどと跡地利用を検討し、関宿小学校跡地と隣接する旧関宿北部幼稚園を一体的に整備し、「関宿あおぞら広場」として19年4月1日に開設しました。

約7千800平方メートルの広場では、キャンプやバーベキューなど多目的な利用ができ、さらに炊事



北出張所設置で市内全域に緊急車両が5分以内に到着できる体制に

場を設けた体験広場、会議や宿泊もできる体験棟、さらに障害者用の駐車場やスロープなども備えています。

なお、利用日の90日前から5日前までに、青少年課が隣接する鈴木貫太郎記念館で予約することができます。

関宿はやま工業団地 すべての区画に企業立地

県道結城野田線沿いの関宿地域の北部に位置し、平成4年3月に県企業庁と旧関宿町が協定書を締結し、8年度から全10区画(約20万ヘクタール)で分譲してきましたが、合併時には3区画の分譲でした。



キャンプファイアーや宿泊体験も

市では合併を機に、企業立地対策担当を設置したことや、15年12月の「千葉県企業庁造成土地等分

キャンプもできる広場に感激

ボーイスカウト野田第7団・ボーイ隊副長 船橋千秋さん

昨年8月に、ボーイスカウトの北総地区キャンポリーとして、関宿あおぞら広場に150人もの隊員が集まり、4泊5日のキャンプをしました。大勢でキャンプができる広い場所が、近くにあって自由に使えるというのは、私た



ちボーイスカウトにはとてもありがたいです。周辺には史跡も多いので、キャンプをしながら歴史散策やサイクリングができるのも魅力ですね。



物流業や製造業など17区画に15社が操業

譲貸付基準」の改正により、土地貸付や小區画分割などを始めとする分譲促進制度が新たに導入・適用されたことなどが要因となり、19年3月には17区画すべての企業誘致が完了しました。

関東平野のほぼ中心に位置する「関宿はやま工業団地」は、都心から45キロメートル圏内にある内陸型で、成田国際空港や筑波研究学園都市などの主要拠点をはじめ、北関東・東北方面へのアクセスに優れた利便性を併せ持っています。